

こどもプラザをご利用のみなさん、2025年もどうぞよろしく願いいたします！

みんなが知っている あの作家の先生たちから、今年も素敵なメッセージをいただきました。

(お名前 50 音順)

「この前、図書館で本を借りたら“よくこんな面白い本知ってますね”と司書さんに言われてちょっと嬉しかったです。みんなのお勧めの本、あったら教えてね。」 (石井聖岳先生/絵本作家)

「本は今まで知らなかった新しい世界と繋がる扉のようなものです。たくさんの扉を開き、自分の知らなかった新しい世界を覗いてみてください。ちなみに、私は先日“英国のテーブルウェア”と“美しいフランスのテーブルウェア”の扉を開きました。」

(香月美夜先生/ライトノベル作家)

「図書というのは図と書です。本は読むものだけでなく、見るものでもあるんですよ。読書の苦手な子（僕もそうだった）いろいろな見る本が図書館にはたくさんあります。家では見られない本ばかり。遊びに来てください。」 (川端誠先生/絵本作家)

「絵本は表紙という扉を開けると、その向こうに いろいろな世界が広がっています。その世界に一步ふみだすと、あなたは物語の主人公と一体となって想像の世界に飛び出して行きます。本の数だけ冒険があります。」 (きむらゆういち先生/絵本作家)

「何かに迷ったときは、本の中のあなたの好きな登場人物に相談してみて。相談するっていうことは、あの子だったら、こんなときどうするかな？ なんていうかな？ と考えること。いい答えが見つかるかもしれません。」 (草野あきこ先生/児童文学作家)

「私は本を選ぶ時間が大好きです。どんな本かなあ？って 表紙を見てるだけでワクワク。つい借りすぎて 読みきれなくても大丈夫♪ 楽しみ方は人それぞれ！自分の好みを観察して、好きな方法でいろんな事を楽しめますように☆」

(くせさなえ先生/絵本作家)

「本を読もう。読みたくなければ、人間と話そう。話したくなければ、本を読もう。どちらかで良い。読めば読むほど、話せば話すほど、あなたは大きく成長する。」 (ザ・キャビンカンパニー先生/絵本作家)

「私が届けたい乳幼児さんは、まだ字が読めません。大人の存在が大事です。お父さんお母さんが心地よく読んでくだされば、子に伝わります。そんな作品を創りたいと、爺さん作家は今日も行きつ戻りつ汗をかいています。」 (とよたかずひこ先生/絵本作家)

「“絵本は子どもの心のえいよう！ゆたかはおいしい絵本をつくる！”いつのまにか仕事場のホワイトボードに書いた言葉。これを心にはじまりますよ！また描きますよ！」 (中垣ゆたか先生/絵本作家)

「ぼくたち わたしたちは うまれてきたのです。生きてゆくのです！」 (長谷川義史先生/絵本作家)

「こどもプラザのみなさん、『かいけつゾロリ』の作者の原ゆたかです。これからも、楽しいお話を書いていこうと思っています。たくさん読んでくださいね。」 (原ゆたか先生/児童書作家)

「みんないつも何考えてる？僕はいつも食べもののことばかり考えてるねん。好きなもんがあったらそのことばかり考えてしまうやろ？ でもそれでええやん、幸せなことやん。毎日楽しんで生きてこ！」 (はらぺこめがね先生/絵本作家)

「みなさん、今年はどんな本を読みますか？ 最近、よく絵本を読むことが多いのですが、絵本って奥が深い……。図書館に来たのはいいけど、今は特に読みたいものないなあという絵本を卒業したかたがた、たまには絵本に戻るのも面白いかと思えますよ。」

(日向夏先生/ライトノベル作家)

「人はみんな幸せになりたいと願っています。そのためには、夢を持つことです。僕は、子供の時に一冊の本に出会い夢を持ち、そして、夢を叶えることができました。夢のために頑張ると素敵なことがいっぱい待っていますよ。」

(宮西達也先生/絵本作家)

「毎日忙しいかい？ でも時々、深呼吸してみよう。耳を澄ませてみよう。風の中に花の匂いがある。鳥のさえずりがある。そのたびに、きみたちの豊かなセンサーが、磨かれていくよ。」 (村上康成先生/絵本作家)